



校長室だより

黒部市立荻生小学校

文責：校長 寺島紀子

令和4年10月19日

第27号

最近、登校直後の6年生数名が校門付近の落ち葉を掃いてくれます。さりげないボランティア活動、素敵です。ありがとう！

さて、本校校門前の2大樹木といえばサクラとカツラですが、面白いものでサクラの葉はほんのり桜餅のような香りが、カツラの葉はキャラメルのような甘い香りがします。食いしん坊の私にはたまらなくいい香りです。落ち葉を手にとって匂いをクンクンとかいでいる校長を6年生が不思議そうな表情で見っていますが…（笑）。皆さんもこの香り、味わってみてはいかがでしょうか。秋も深まってきました。

自分の中の「感動」を、時には短歌で表してみよう！

前号では読書について取り上げましたが、インプットだけでなくアウトプットも大切です。自分の心を言葉で表現することを楽しむ子供に育ててほしい、そのために俳句や短歌といった短い定型詩も取り組みやすい方法です。

★大きな大会で荻っ子たちの短歌が続々入賞しました！

荻生小では1学期にどの学年も短歌に親しんだことから、希望者の作品を全国や県の大会に応募したところ、今月に入って、全国万葉短歌大会ジュニアの部で優秀賞が1名、県短歌大会ジュニアの部でも優秀賞2名、佳作3名、入選が7名と好成績を収めました。去る14日（金）の全校集会でも紹介を行い、作品は校長室前の「荻っ子短歌広場」に掲示しているところです。今後は今月末の公民館祭りにも展示させていただく予定ですので、その際は是非ご覧ください。

★「校長杯短歌大会」に向けて準備をしています

こうした嬉しい流れを生かし、今月は「校長杯短歌大会」を下学年の部と上学年の部に分けて行う予定です。1学期は各教室内での短歌大会を行いました。今回は1～3年生、4～6年生がそれぞれ同じ土俵で短歌を応募し、無記名の作品をお互いに投票し合います。学年の枠を越えた大会です。そして「校長杯」なので、入賞者には「杯（カップ）」とまではいきませんが何か賞品を渡そうと考えています。

★自分ならではの「感動体験」を「五・七・五・七・七」の「リズム」に

ただ「短歌を作りなさい」といってもまだまだ難しい子や時間のとれない子も多いでしょうから、先週から校長の短歌教室（出前授業）を始めています。これまで1～4年の各教室で行いました。

去る14日（金）は4年生向けの短歌教室でした。

私はまず「『感動』ってどういうことかな？」と問いかけました。

「心に響くというか…」「心が動く！」と子供たち。

「そうだね。たとえばどんなことかな？」…そこから、うれしい、楽しい、ドキドキした、ホッとした、きれいだなと思った等々、自分なりの「感動体験」を各自が思い出し始めました。それが短歌のネタになります。あとはそれを言葉のパズルのように、短歌の型「五・七・五・七・七」に当てはめます。俳句のような季語を使う必要がなくどのようなことでも表すことができるのが短歌のいいところです（その点、俳句よりも自由なのです）。

「校長先生、『十五秒台』って何文字ですか？」「文字と言うより音（おん）。声に出して数えるといいよ。『十五秒台』はちょうど七音！だね」 きっとこの子は100m走のことを短歌にしたいのでしょう。自分らしい歌が作れそうですね。大会後の結果もまた次の機会にお知らせできればと思っています。



4年担任の平野先生が撮影してくれました

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

全校に向けて、音楽会のふし発表

市音楽会の本番を間近に控え、18日(火)の朝の時間に、体育館での校内発表会を行いました。5・6年生の子供たちは本番さながらに制服を着て、1～4年生、教職員、希望する5・6年保護者の方を前に「やってみよう」を演奏しました。たくさんの観客を前に少し緊張した面持ちの5・6年生でしたが、鈴木先生の指揮の下、直前までの練習の成果を出していました。なかなか素敵でしたよ！さらに、5限にはそのとき録画した映像を見直し、反省点を出し合っていたようです。本番まであと3日。演奏をさらに磨き上げ、悔いのない発表にしてくださいね。がんばれ5・6年生！！



シリーズ「教室におじゃまします」10/14(金)3年音楽科の巻

これまでいろいろな音の響きを感じ取る学習を続けてきた3年生ですが、この日からは「おかしなすきなまほうつかい」の曲に合わせた「まほうの音楽」をつくる学習に入ります。いろいろな打楽器の音の響きに親しむ学習です。

「魔法の音楽ってどんな音だろうね？」と岡本先生が投げかけると、「いろいろな音が重なっているかも・・・」といったつぶやきが聞こえます。なかなかいいですね～。

「今から魔法の音楽の見本を演奏してみますよ」と、この時間のためにお手伝いに来た霜野先生、根塚先生、長島先生と岡本先生の4人で、曲に合わせて演奏を披露すると、子供たちは大注目です。「本当に魔法みたい」「シンバルがよかった」「鉄琴をやってみたくなった」と興味津々です。その後はさらに、DVDのアニメ作品からも魔法の音楽のイメージを膨らませました。子供たちから「もう1回聴きたい！」の声が上がり、2回鑑賞しました。

そしていよいよ打楽器実演です。子供たちはさまざまな打楽器に思い思いに集まり、先ほどの先生方の演奏の方法を思い出しながら、またDVDアニメの音楽を再現しようと、いろいろな音を出して楽しみました。時間いっぱい飽きることなく楽しみ尽くし、みんなニコニコ顔でこの日の授業は終わりました。



おまけの<ひとこと> 先週14日の授賞集会に引き続き、18日の音楽会の校内発表と、久しぶりに全校が体育館に集まる会を行っています。音楽発表では、カラーレでの本番と同じく5・6年生はマスクを外しての発表でした。演奏直前の整列の時から照れくさそうに互いの顔を見つめ合っているその表情がまた新鮮で、かわいらしいなあと思いました。さて、発表を聴いた後、霜野先生が「感想を言える人は？」と促したのですが、1～4年生からなかなか手は挙がりませんでした。大勢の前で話すという機会もずいぶん久しぶりだったので戸惑っていたのでしょうか。「with コロナ」に向けて、いろいろなことをまた始められるといいなあと思っています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。